

令和2年度 第1回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和2年7月2日（木）午後2時～

場所：加西市健康福祉会館（ラヴィカさい）2階研修室

開 会

1 市長あいさつ

2 自己紹介

3 会長及び副会長の選出

4 加西市総合計画の策定について（諮問）

5 議 事

(1) 加西市総合政策審議会の進め方 …【資料1・2】

(2) 第6次加西市総合計画の策定状況について …【資料3・4】

(3) 第6次加西市総合計画の基本構想（案）について …【資料5】

(4) 第6次加西市総合計画の基本計画 施策体系（案）について …【資料6】

(5) 第5次加西市総合計画の評価・検証について …【資料7・8・9・10】

6 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和2年度 第2回加西市総合政策審議会

日時：令和2年7月17日（金）14:00～

場所：加西市役所 5階大会議室

令和２年度 加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏名	団体名等	役職	備考
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
大野 聖佳	NPO 法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）	ジェネラルリーダー	
岡 和司	加西市連合 PTA	副会長	
岸本 達希	加西市立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会	会長	
木下 勇	加西市区長会	富田地区代表区長	
久米澤 稔	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
後藤 直樹	加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西）	代表	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	（欠席）
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
仁科 崇良	北条金融協会	会長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	

（15 名 五十音順）

■事務局

氏名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課 課長補佐
森山 俊幸	ふるさと創造部人口増政策課 係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課 係長
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課 主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課 まちづくり推進員

加西市総合政策審議会の概要

1 趣旨

加西市総合計画や加西市地域創生戦略等、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する重要な事項について、調査及び審議することにより、市民の意見を反映し、効果的な市政運営を図るため、「加西市総合政策審議会」を設置します。

2 体制と役割

- (1) **審議会の役割** 市長の求めに応じ、市の政策の総合的かつ計画的な推進に関する次の事項について、調査及び審議します。
- ① 総合計画の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
 - ② 地域創生戦略の策定又は変更及び進捗状況に関する事項
 - ③ その他市長が必要と認める事項
- (2) **審議会の体制**
- | | |
|---|---|
| ○審議会
委員構成：地域の産学官金労言士老若女などの有識者
事務局：ふるさと創造部人口増政策課 | ・部会：必要に応じて設置・検討

・関係者：必要な説明・意見を聴取 |
|---|---|
- (3) **会長及び副会長** 会長は、委員の互選によって定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。
- (4) **委員の任期** 2年 ※委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。
- (5) **その他** その他運営に関し必要な事項は、「加西市総合政策審議会運営要綱」に準じる。

3 令和2年度審議会のスケジュール（予定）

第1回 加西市総合政策審議会 令和2年7月2日（木）14:00～ 加西市健康福祉会館	・総合計画の策定について諮問 ・概要説明・スケジュール確認、総合計画 施策体系の確認
第2回 加西市総合政策審議会（部会） 令和2年7月17日（金）14:00～ 加西市健康福祉会館	・現総合計画の評価・検証①
第3回 加西市総合政策審議会（部会） 令和2年8月7日（金）14:00～ 加西市健康福祉会館	・現総合計画の評価・検証②
第4回 加西市総合政策審議会 令和2年8月25日（火）14:00～ ※場所は現在調整中	・基本構想・意見に対する回答、基本計画（方針1）
第5回 加西市総合政策審議会 令和2年10～11月頃 ※詳細は現在調整中	・基本計画（方針2・3）
第6回 加西市総合政策審議会 令和2年11～12月頃 ※詳細は現在調整中	・基本計画（方針4）、答申文案の検討
第7回 加西市総合政策審議会 令和2年12～令和3年1月頃 ※詳細は現在調整中	・パブコメ結果、修正報告、答申

○加西市総合政策審議会運営要綱（案）

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、加西市総合政策審議会規則（令和 2 年加西市規則第 19 号）第 5 条の規定に基づき、加西市総合政策審議会（以下「審議会」という。）の会議の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（議事の表決）

第 2 条 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。

（会議の公開）

第 3 条 会議は、原則として公開するものとする。ただし、会長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めたときは、非公開とすることができる。

（傍聴の手続）

第 4 条 会議の傍聴を希望する者は、傍聴希望者受付名簿に必要事項を記入しなければならない。

（傍聴人の遵守事項）

第 5 条 傍聴人の守るべき事項については、加西市議会規則（平成元年議会規則第 2 号）の例に準拠するものとする。

（会議録の作成について）

第 6 条 会議録は、要点筆記とする。

（会議録等の公開について）

第 7 条 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（会長及び副会長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。

2 会議録と併せて、会議資料を公開する。

3 委員名簿は、市のホームページで公開する。

（補則）

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

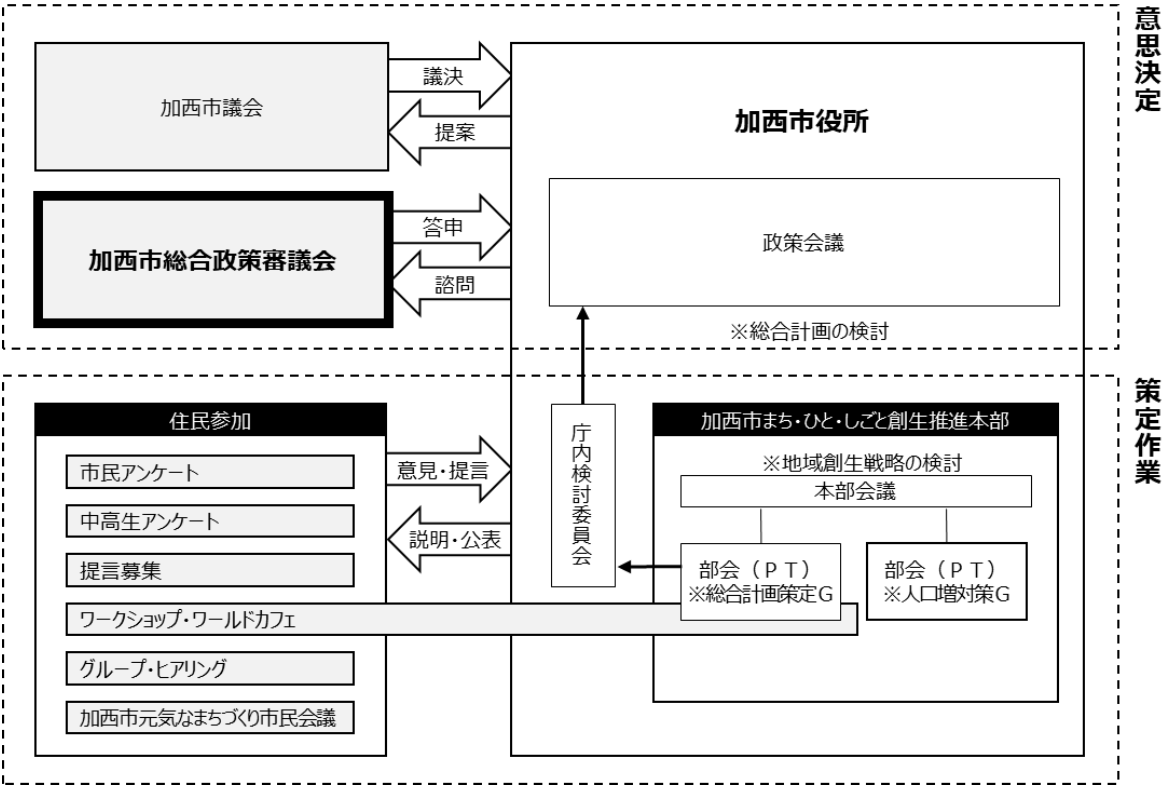
この要綱は、令和 2 年 7 月 2 日から施行する。

第 6 次加西市総合計画策定の方針とこれまでの経過

1 概要

加西市総合計画（平成 28 年 3 月後期 5 年計画策定）は、令和 2 年度に目標年度を迎えることから、少子高齢化・人口減少社会という大きな構造変化に負けない加西づくりに的確に対応するため、策定については、令和元年度から着手し、新たな都市像や目標のもと施策をとりまとめ、行財政改革プランと整合を図りながら推進を図るものとしています。

2 第 6 次加西市総合計画等の策定体制



3 総合計画と地域創生戦略の計画期間の調整

加西市の場合、第 5 次加西市総合計画と加西市地域創生戦略の計画期間に 1 年のずれがありましたが、地域創生戦略の評価・検証等の進捗の管理は総合計画に組み込んで一体的に行っており、今後も地域創生戦略が継続されることを考慮して、以下の通り計画期間を調整のうえ同期の取れたものとしています。

計画	平成									令和											
	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
加西市総合計画	第 5 次加西市総合計画 (10 年計画)									第 6 次加西市総合計画 (10 年計画)											
	前期計画(5 年)					後期計画(5 年)				前期計画(5 年)					後期計画(5 年)						
	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	
加西市地域創生戦略						加西市地域創生戦略 (5 年)				第 2 期加西市地域創生戦略 (6 年)					以後の戦略(5 年)						
						●	→	→	→	→	●	→	→	→	→	→	●	→	→	→	→

4 検討の大枠

計画	令和元年度	令和２年度
第６次加西市総合計画	・基本構想（都市像、目標）の検討を行う。	・前期基本計画の施策検討を行い、計画を策定する。
第２期加西市地域創生戦略	・上記に合わせて、骨子部分を検討し、戦略を策定する。	・上記と同時一体的に、アクションプランの整合を図る。

5 計画策定業務のスケジュール概要

年度	月	意見集約・会議等	検討作業
令和元年度	6月	・加西市元気なまちづくり市民会議（６回） ・市民提言の募集 ・市民アンケート ・中高生アンケート ・団体等ヒアリング・意見交換（１４団体） ・ワールドカフェ（１回） ・市民参画ワークショップ（４回）	・庁内検討組織による検討開始 ・基礎データの調査 ・総合計画・地域創生戦略における事業実施状況の評価・検証の実施
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		・総合計画 基本構想の検討・作成 ・地域創生戦略 骨子案等の検討・作成
	12月		
	1月		・議会説明
	2月		
	3月	・パブリック・コメント実施	・第２期加西市地域創生戦略の策定
令和２年度	4月	・総合政策審議会（６回程度） ・総合計画 諮問 ・現計画の評価・検証 ・次期計画案等の審議 ・総合計画 答申	・総合計画・地域創生戦略における事業実施状況の評価・検証・総括の実施
	5月		
	6月		
	7月		・総合計画（前期計画）の施策検討
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		・総合計画（実施計画）の作成 ・地域創生戦略アクションプランの作成 ・各部署とのヒアリング
	12月		
	1月		
	2月		
	3月	・パブリック・コメント実施	・議会説明
		・３月議案提出	・第６次加西市総合計画の策定

市民等に対する意見募集の取組

市民提言



募集期間	令和元年 8 月 1 日（木）～9 月 30 日（月）
募集方法	所定の応募用紙を郵送、持参、FAX、メールのいずれかで提出
対 象	加西市民及び加西市に関心がある人
募集結果	4 名より提出あり

市民アンケート
・中高生アンケート



◆市民アンケート

実施時期	令和元年 9 月発送
対 象 者	18 歳以上の加西市民 4,000 名 ※無作為抽出
回収件数	1,503 件（37.5%）

◆中高生アンケート

実施時期	令和元年 10 月実施
対 象 者	市内の学校に通う中学 3 年生及び高校 2 年生 （市内 4 中学校、県立北条高等学校、県立播磨農業高等学校）
回収件数	601 件

市民ワークショップ
（ワールドカフェ）



開催日時	令和元年 8 月 31 日（土）10:00～12:00
開催場所	地域交流センター 交流プラザ（アスティあさい 3 階）
参加人数	73 名 ※市職員によるプロジェクトチームも参加



市民ワークショップ
（グループ会議）



開催日程	令和元年 9 月～令和 2 年 1 月 ・第 1 回：令和元年 9 月 26 日（木） ・第 2 回：令和元年 10 月 26 日（土） ・第 3 回：令和元年 11 月 27 日（水） ・第 4 回：令和 2 年 1 月 23 日（木）	
登録者数	47 名 ※市職員によるプロジェクトチームも参加	
検討テーマ	10 テーマ ①子育て・教育 ②生涯学習(文化・スポーツ) ③健康・福祉 ④医療 ⑤農業・商工業 ⑥防災・防犯 ⑦環境 ⑧都市整備・公共交通 ⑨市民参画・地域づくり ⑩観光	

グループインタビュー



実施時期	令和元年 12 月～令和 2 年 2 月
対象団体	市民ワークショップの各テーマに関連する加西市内で活動する団体・企業等
現在の状況	○愛の光こども園（愛の光キッズ） ○小中連合 PTA ○うれしの学園生涯大学加西支部 ○加西市いずみ会 ○加西市社会福祉協議会 ○兵庫みらい農業協同組合 ○加西商工会議所青年部 ○災害ボランティア 加西らん ○加西市くらしと生活を守る会 ○神姫バス(株) ○加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西） ○幸せの黄色い新聞 ○かさい日本語クラス ○加西市観光研究会

第 6 次加西市総合計画《序論・基本構想》(素案) 【概要版】

第 1 章 序論

第 1 節 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

人口減少が進む中、自然や歴史文化、産業など、地域資源を活かしつつ、AI や IoT など最新技術も活用しながら、住み続けられる協創のまちづくりを進めていく。

2 構成と期間

- 「基本構想（10 年）」「基本計画（5 年）」「実施計画（概ね 3 年）」の三層構造
- 地域創生戦略及び国土強靱化地域計画と整合・連携する同列の計画であり、各分野個別計画の上位計画

3 策定体制

市民参加と庁内関係部署による策定作業、審議会や市議会等の検討・議決

第 2 節 加西市の概要と社会の動き

(1)人口減少と少子高齢化への対応	加西市の人口は減少傾向で推移しているが、2018 年度は 25 年ぶりに転入超過
(2)安全・安心への意識の高まり	犯罪や事故発生件数は減少傾向だが、災害対策への意識は高まりがみられる
(3)地球環境問題への対応	地球温暖化対策の温室効果ガス抑制、SDGs の展開が重要となっている
(4)情報通信技術の普及と新たな展開	情報通信技術の活用が求められており、地域でもまちづくりへの応用が期待される
(5)共生・協創社会の実現	行政と住民等が共に取り組み、地域の課題解決をしていくことが重要となっている
(6)経済情勢と働く環境の変化	人手不足が深刻化する中で、市内事業所支援と働き方改革を推進することが求められる
(7)多文化共生社会の推進	外国人人口が増加しており、多文化共生の地域づくりを推進する必要がある
(8)持続可能な財政運営の推進	人口減少による歳入減が懸念されるため、効率的な行財政運営が求められる

第 3 節 第 5 次加西市総合計画の評価と検証

第 5 次総合計画における取組の推進状況と効果について、庁内検証や「加西市元気なまちづくり市民会議」における評価結果を踏まえ、第 6 次総合計画の取組につなげる（平成 30 年度末時点での全体進捗率は 88%）。

第 4 節 市民からみる加西市の姿

1 市民・中高生アンケート調査の結果

- 加西市を好きと回答した方が多い一方で、高校生をはじめ若い世代の転出意向も一定みられる
- 公共交通や医療、空き家対策や雇用対策の満足度が低く、優先的な対応が必要
- 多文化共生の地域づくりは重要だが、あまり外国人と関わりたくないという回答が半数程度ある。

2 ワールドカフェ・ワークショップの結果

- 加西市の魅力：自然や農業、ものづくり、治安の良さや地域のつながりなど
- 加西市の課題：交通手段、雇用の場、まちの PR、観光産業の強化など
- まちの将来像：みんなが健康で元気なまち、子どもの頃から様々な人と出会い、経験ができるまち、加西で働きたくなる産業があるまち、自然を楽しむことができるまちなど

3 団体ヒアリング調査の結果

- 出生率低下への対応：自然と触れ合うなど特徴ある教育、女性が働きやすい環境づくりなど
- 若い世代の流出への対応：幼少期からの郷土愛の醸成、優良企業の誘致、公共交通の充実など
- まちの魅力：消費地に近く緑が多い農業地、中国縦貫自動車道のアクセス、人と人とのつながりなど

基本構想

第6次総合計画において実現を目指す目標

第1節 基本理念と将来都市像

まちの自然や歴史文化を活かしつつ、外部の人とも連携し、「協創」していくことで、将来にわたって住みやすく、魅力あるまちを目指す。

- 基本理念：未来を拓く 協創のまち 加西 ～豊かな自然、育まれた歴史、深まる絆を活かして～
- 将来都市像：大空に 夢がふくらむ「未来の田舎」^{ミライナカ}かさい

第2節 4つの基本方針

子育て応援と暮らし、活力とにぎわい、安全・安心、協創のまちづくり

第3節 目指す持続可能なまち

加西市のSDGs（持続可能な開発目標）の視点や目指す姿

第4節 将来人口

持続可能都市として、地域創生戦略の目標と整合した人口目標（2030年41,000人程度）



実現のための具体策

第5節 土地利用の基本的方向

市街地ゾーン・田園ゾーン・自然ゾーンや現小学校区を基本とした拠点エリア等の土地利用の方針

第6節 計画の体系

基本理念・将来都市像やSDGsの目標を整理した、まちづくりの4つの方針と施策体系

第7節 評価・検証

実効性のある計画とするため、定期的な進捗管理とPDCAサイクルによる外部評価検証を実施



※令和2年度の検討作業

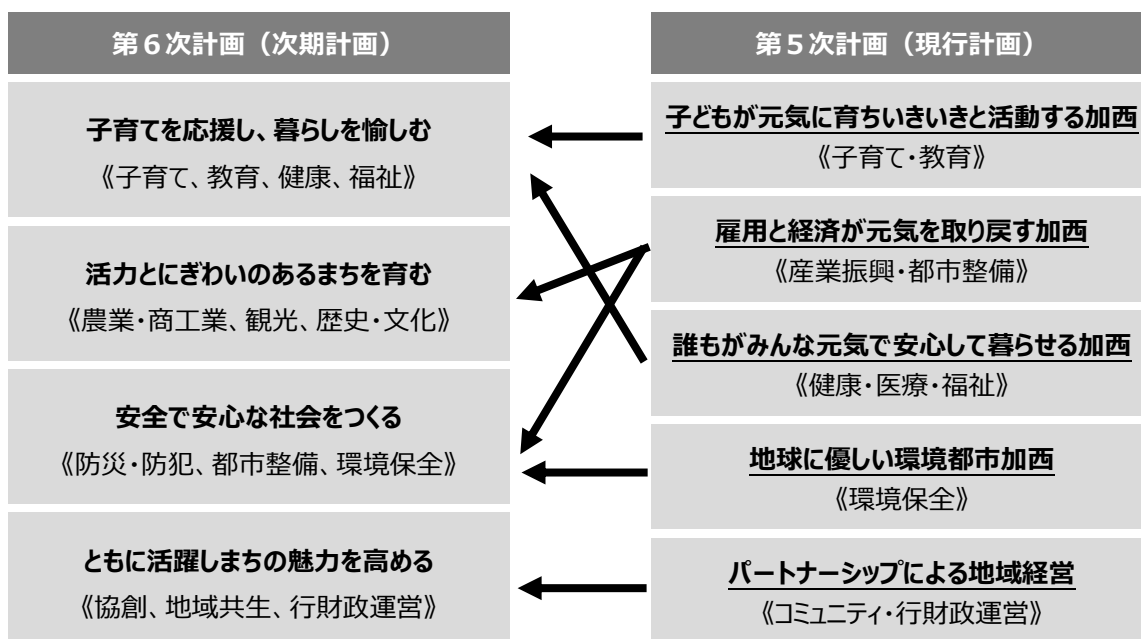
基本計画

施策体系の細分化・具体化により、行政をはじめ、事業所、地域団体、そして市民が進めていく取り組み

基本目標1 子育てを応援し、 暮らしを愉しむ	基本目標2 活力とにぎわいのある まちを育む	基本目標3 安全で安心な 社会をつくる	基本目標4 ともに活躍し まちの魅力を高める
・子育て支援 ・学校教育・青少年教育 ・生涯学習・スポーツ ・社会保障 ・福祉・健康 ・保健・医療	・農業・商工業 ・雇用・勤労者福祉 ・観光 ・歴史・文化	・防災・防犯 ・危機管理 ・消防・救急 ・土地利用 ・空き家対策 ・道路・公共交通 ・環境保全	・協創のまちづくり ・コミュニティ ・広報・広聴 ・男女共同 ・多文化共生 ・行財政運営 ・広域連携

第 6 次加西市総合計画 施策体系（案）

1 第 6 次計画の基本方針（案）



2 施策体系設定の理由

① 住民ニーズに対応できる計画構成

総合計画策定のためのアンケート調査では、

- 「子育てしやすさ」
- 「高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉のまち」
- 「働く場所や仕事が多いまち」
- 「生活の利便性」
- 「安全な暮らし」

を求める声が多くなっていました。

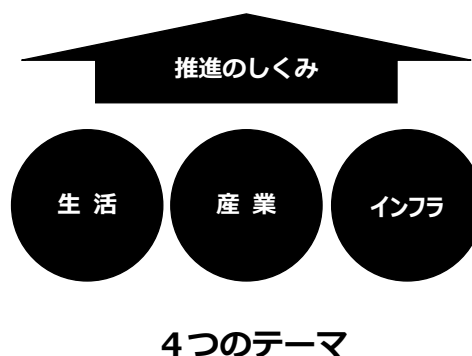
これらを踏まえ、

- 「子育て・福祉」などの生活面
- 「まちの活性化」につながる産業面
- 「暮らしやすい都市環境」となるインフラ面

の 3 つの充実に加え、

- 「協創のまちづくり」や「行財政運営」等の推進のしくみ

を加えた 4 つのテーマとして再編しています。



② 分野横断的なまちづくりの推進

平成 23 年に策定された第 5 次計画では 5 つのテーマのもと 10 の政策に沿って施策を推進してきました。

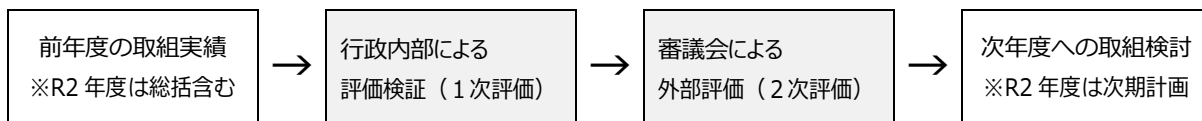
まちづくりに多様性が求められ、部門間での連携が欠かせない状況の中、大きくりのテーマで分野を整理・統合することで、共通のゴールを目指すわかりやすいまちづくりの推進体系として整理しています。

第6次加西市総合計画における基本体系の概要（案）

第6次加西市総合計画		第5次加西市総合計画	
生活面	基本方針1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ	基本政策1 人づくり ～子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西～	政策1 明日を担い未来へつなげる人づくり
	政策1 一貫した子どもへの支援体制の充実	施策01 誰もが学べる学習環境づくり	施策02 主体的な青少年活動
	施策① 結婚・出産の支援	施策03 地域で楽しめる体力づくり	施策04 出会いを求める若者の応援
	施策② 子育て支援の充実	政策2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	施策05 特色ある教育
産業面	施策③ 子育て環境の充実	施策06 安全安心で潤いのある学校	施策07 地域に開かれた学校づくり
	施策④ 教育の質の向上	基本政策2 産業 ～雇用と経済が元気を取り戻す加西～	政策3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
	施策⑤ 教育環境の充実	施策08 裾野の広い農業の育成	施策09 地域資源を活用した産業振興
	政策2 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり	施策10 加西に住んで働ける就労支援	施策11 加西らしい観光サービス
インフラ面	政策3 ふだんのくらしを楽しむ福祉の充実	政策4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	施策12 魅力ある中心市街地の形成
	施策① 生涯学習の充実	施策13 周辺地域の定住促進	施策14 公共交通網の構築
	施策② 芸術・スポーツの振興	基本政策3 暮らし ～誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西～	政策5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり
	政策4 健康・医療の充実	施策16 社会参加を通じた生きがいづくり	施策17 こころとからだの健康づくり
まちづくりを推進するくみ	施策① 健康増進の推進	施策18 地域医療体制の充実	政策6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり
	施策② 保健・医療体制の確保	施策19 地域で支え合う安心の暮らし	施策20 防犯・防災のまちづくり
	基本方針2 活力とにぎわいのあるまちを育む	施策21 安心できる子育て支援	基本政策4 環境 ～地球に優しい環境都市加西～
	政策5 地域経済活性化の推進	政策7 自然環境の保全と特色ある景観づくり	施策22 自然と共生する里地里山づくり
まちづくりを推進するくみ	施策① 農業の再生	施策23 加西の風土を活かした景観づくり	政策8 循環型社会をめざす生活環境づくり
	施策② 商工業の振興	施策24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進	施策25 水環境のまちづくり
	施策③ 雇用・勤労者福祉の充実	施策26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進	施策27 環境学習の推進
	政策6 地域資源の活用	基本政策5 地域経営 ～パートナーシップによる地域経営～	政策9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西
まちづくりを推進するくみ	施策① 歴史・文化の再発見と交流拡大	施策28 情報公開と住民自治のまちづくり	施策29 自己実現と共生のまちづくり
	施策② 移住・定住の支援	政策10 健全な行財政運営の確立	施策30 行政サービスの向上と効率経営
	施策③ 空き家活用の推進		
	基本方針3 安全で安心な社会をつくる		
まちづくりを推進するくみ	政策7 市民が安全・安心に暮らせる環境の充実		
	施策① 防災・防犯、交通安全の強化		
	施策② 危機管理対策の充実		
	施策③ 消費者保護の拡充		
まちづくりを推進するくみ	政策8 自然と調和した、快適な都市環境の創出		
	施策① 住環境の整備		
	施策② 都市景観の確保		
	施策③ 上下水道の整備		
まちづくりを推進するくみ	施策④ 道路・河川の整備		
	施策⑤ 公共交通の充実		
	政策9 まち全体での地球環境の保全		
	施策① 環境保全の推進		
まちづくりを推進するくみ	施策② 循環型社会の創造		
	基本方針4 ともに活躍しまちの魅力を高める		
	政策10 協創のまちづくりの推進		
	施策① 協創のまちづくりの展開		
まちづくりを推進するくみ	施策② 郷土愛の醸成		
	施策③ シティプロモーションの推進		
	施策④ 広報・広聴の充実		
	政策11 共生と平和のまちの実現		
まちづくりを推進するくみ	施策① 人権尊重社会の実現		
	施策② 男女共同参画の推進		
	施策③ 多文化共生の育成		
	政策12 効率的で持続可能な行財政運営		
まちづくりを推進するくみ	施策① 行財政運営の効率化		
	施策② I C Tの利活用の推進		
	施策③ 広域連携の推進		

加西市総合計画等の実施計画における評価・検証について

加西市総合計画の着実な推進にあたり、事業の実施状況について、行政内部による評価検証（1次評価）を行い、その内容について審議会による外部評価（2次評価）を行うことによって、透明性を確保する。



1 部会の設置

外部評価（2次評価）は、1部会5名体制で3つの部会を編成し、30施策を分担して評価検証を行う。また、部会には部会長を置き、部会の進行管理を行うものとする。

部会数	1部会あたりの対象政策	1部会あたりのメンバー		
		担当委員 ※審議会委員	説明員 ※市職員	事務局 ※市職員
3	2～5	5名（うち部会長1名）	2～3名	2～3名

2 外部評価（2次評価）の進め方

(1) 第2回 加西市総合政策審議会

- ① 全体会で事務局より部会での作業内容の説明
- ② 各部会に分かれ、市民の視点から各施策について「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。

総合評価基準		基準の説明
S	目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない

(2) 第3回 加西市総合政策審議会

- ① 全体会で事務局より部会での作業方法の説明
- ② 各部会に分かれ、前回会議で行った評価を確認しながら、前回の意見を記録した事務局整理をもとに意見・提案等のコメントを付し、2次評価案を作成する。
- ③ 各部会長より総括
- ④ 全体会での検討

3 外部評価（2次評価）後の対応

- 事務局から各部へフィードバックの上、次年度の取組について改善検討を行う。
※令和2年度については、第6次加西市総合計画の基本計画・実施計画等の参考とする。
- 行財政改革プラン（総合計画 実施計画）へ外部評価（2次評価）の結果を掲載し、市ホームページ等で公表する。

令和元年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

1 対象項目

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課					
評価検証									
2	基本計画を推進するためのR元取組内容		R元 (決算額)				R2 (予算額(補正含む))		
	実施スケジュール	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供		
		経費(千円)	3,505				3,430		
3		R元決算(見込)額		3,505					
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標	当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
		実績	—	40	39	37	39	44	50
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。 現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	88%	
			最終年度	80%	78%	74%	78%	88%	
R元取組状況		公民館主催講座として、連続講座44と単発講座10、合計54講座を開催し9,056人が受講しました。各公民館ごとに健康づくりから、歴史、地域、料理、趣味など様々な分野の講座を企画しました。 また、生涯学習に関する情報については、市広報紙やチラシのほか、公民館ブログや新たなアプリを含むSNS等、さまざまな媒体を活用し、情報提供を行いました。							
課題と今後(R2)の取組		自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきています。 公民館主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 現行グループについては、引き続き出前講座のコーディネートに努めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(R元)	最終(R2)					
	②実行中	B：予定より遅延	88%	88%	C：目標を下回っている		②継続		
備考	①未着手 ②実行中 ③完了	S：予定より早く進行 A：予定通り進行 B：予定より遅延 評価の目安 ※単年(R元)参照 ・101%以上 → S ・100% → A ・99%以下 → B			基本計画の推進に対する自己評価 S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている			①完了 ②継続 ③見直し	
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性				
子どもから高齢者まで、学びたい人が学べるよう各世代を対象としたさまざまなテーマの講座を開催しています。特に高齢者の学習意欲が高く、年々シニアカレッジ「かしの木学園」の受講者が増えています。また、健康に意識が高い方が多いので、体操や健康の講座も充実させています。					社会問題や地域の課題を拾い上げ、地域の団体や関係機関等と連携し、それをテーマに講座を開催する必要があります。 引き続き、教養や趣味の講座と、社会や地域の課題をテーマにした講座を開催します。				

追加項目

H28年度からR元年度までの取組の総括

残された課題・新たな課題と次期計画の方向性

総合計画施策評価一覧
対象項目

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている
【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	基本 計 ① 個票のページ数	戦略 アクション ② 各指標に対する実績を【評価シート】から転記	個票 ページ	進捗 状況	行政内部による評価検証（1次評価）				総合 評価	R元取組状況	課題と今後の取組	総合 評価	審議会による外部評価（2次評価） 意見・提案等	
						目標数値の達成度			事業の 到達度						今後の 方針
						区分	単年 (R元)	最終 (R2)							
1	1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	②	B	88	88	C	②	B 公民館主催講座として様々な分野の講座を企画・実施し、昨年度よりも主催講座数が増え、たくさんの方々に受講いただくことができました。また、生涯学習に関する情報について、様々な媒体を活用し、情報提供を行いました。 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、地域や団体からの要請で、各公民館に所属している登録グループが出前講座を行い、受講者・回数とも昨年度より大きく増えました。 図書館サービスの拡充のため、学校等へ出向いてのイベント開催や、図書館見学の受け入れ、館内イベントの充実等を図りました。 加西市文化祭については、コミセン耐震改修工事の影響が懸念されましたが、前年度と同水準の来場者がありました。また、第4回加西能に加えて、三木市で新作狂言を披露しました。 土曜チャレンジ学習事業では、学校や地域団体と連携し、延べ49教室を開催し、延べ1,968名もの小学生が参加しました。	公民館の登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、主催講座の参加者が、自主的なグループ活動を展開できるよう支援に努めます。 出前講座を実施している登録グループは4分の1程度であるため、社会貢献活動を実施していないグループに対して、参加意欲を高めるよう、支援及び周知に努めます。 図書館サービス拡充のため、市内中学校対象に実施している巡回図書サービスを、R2年度から市内公立こども園へも拡大します。 加西市の芸術文化活動について、令和2年度中にはコミュニティセンター耐震改修工事完了により、市民会館リニューアルが一段落するため、感染症流行の懸念はありますが、予防対策と会館利用率向上の両立を工夫します。 今後も学校や地域団体、家庭との連携・協働を推進し、子ども達が地域で多様な他者と関わり、学ぶ教育活動を継続するとともに、魅力ある活動を目指します。		
			3		7	②	B	88	84	C	②				
			4		8	②	S	104	104	A	②				
			5	5-83	9	②	S	120	120	A	②				
1	2	主体的な青少年活動	1		11	②	B	78	70	C	②	C 事業として、今年度も加西サイサイ祭りにおいて「お化け屋敷大作戦」を実施し、中止となったため「お化け屋敷大作戦」も中止となり、他の事業の活性化が望めます。 また、青年連絡会の新規会員の獲得がないことが大きな課題です。新規メンバーの募集や広報活動が必要です。	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業数が減少しています。下見・見守り活動など、地域に根ざした活動の推進を図ります。		
			2		12	②	B	75	60	C	②				
1	3	地域で楽しめる体力づくり	1		13	②	B	89	89	C	②	B スポーツを楽しめる機会の拡充として、アクアスカイ、アラジンスタジアム、体育施設の改修・修繕を行い利用者の利便性を向上させました。 地域の指導者養成として、ヴィッセル神戸からプロのコーチを招いての指導者養成講座を実施しました。 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進を図るため、バンディオンセによるサッカースクール、西宮ストークスによるバスケットボール教室やバドミントン教室を開催しました。	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、利用者数の向上を図るため、他団体等と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。 地域の指導者養成として、「教室」形式の指導者講習会が指導者と競技者が共に参加できているため、今後も競技種目を変えた講習会を開催していきます。 また、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創るため、子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催します。		
			2		14	②	B	70	67	C	②				
			3		15	②	S	148	141	S	②				
1	4	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	②	B	80	80	B	②	B 出会いを求める若者を応援するため、平成29年度から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者に委託しており、登録者に108回のお見合いの機会を設けました。 また、加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。	令和元年中に4組が成婚されましたが、さらに成婚に結びつけられるようお見合いの機会を作るようにします。 また、引き続き、各地域のふるさと創造会議や商工会議所と連携し、イベントを開催していきます。		
			2		18	②	S	300	150	B	②				

③ 1 施策ごとの 1 次評価

④ 各個票を確認しながら 1 施策ごとの 2 次評価をお願いします

行政内部による評価検証（１次評価）の概要
（令和元年度 取組実績）

後期基本計画に掲げられた取り組みは全部で 30 施策（196 事業・228 指標）ありますが、未実施や数値が未確定である事業等を除いた検証可能な 212 指標の進捗や到達度等を基に 30 施策について評価・検証しました。

各施策の評価・検証については、令和元年度単年度の指標達成率のほか事業内容・規模等にも配慮しながら事業毎の到達度を「S（目標を大きく上回って達成）」、「A（目標を上回って達成）」、「B（目標を達成）」、「C（目標を下回っている）」、「D（目標を大きく下回っている）」の５段階で評価のうえ、施策全体の総合評価を、同様の５段階区分で評価しました。

全体として一番多いのはBで 25 施策、次いでCの 4 施策となっており、Aは 1 施策となっています。概ねB評価が多くなっており、各事業の指標の単年度達成率から算出した全体の単純平均値は、96%となっています。

基本政策	S	A	B	C	D	達成率 (R 元年度)	達成率 (H30 年度)
1 明日を担い 未来へつなげる人づくり			3	1		109%	113%
2 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり			3			79%	89%
3 地域の豊かさや元気を 取り戻す産業づくり			4			87%	104%
4 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり			4			90%	90%
5 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり			1	2		77%	87%
6 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり			2	1		111%	112%
7 自然環境の保全と 特色ある景観づくり			2			142%	117%
8 循環型社会をめざす 生活環境づくり		1	3			91%	100%
9 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西			2			97%	88%
10 健全な行財政運営の確立			1			104%	105%
合 計	0	1	25	4	0	96%	100%

※今後、精査の結果、数値が異動する場合があります。

令和元年度の取組概要（基本政策単位での内部評価まとめ）

基本政策	政策	主な取組概要
子どもが元気に育ち いきいきと活動する 加西 (人づくり)	1	・公民館登録グループによる社会貢献活動（公民館出前講座）では、昨年度より6,214名多い9,706人が受講しました。 ・「こども狂言塾」では、第4回加西能に加え、市外での活動を行いました。 ・「アクアスカさい」に日よけカーポート設置並びに駐車場整備、「アラジnstadium」の水中ポンプ改修等を行い、利用者の利便性を向上させました。
	2	・加西市出逢いサポートセンターにて、引き続き登録者同士のマッチングを行い、令和元年度中に4組が成婚されました。 ・北条高校において、河合塾によるゼミ「受験コース」と、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミ「基礎コース」を開設し、よりきめ細やかな学習支援を行いました。
雇用と経済が 元気を取り戻す 加西 (産業)	3	・加西インター産業団地における第1期事業の優先交渉事業者の募集を行い、1-2工区について、優先交渉事業者と用地売買契約を行いました。 ・市街化調整区域である「東高室地区」において、商業施設の誘致を図るため地区計画を策定しました。
	4	・市街化区域である「中野・下宮木地区」において、用途地域の変更を行い、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、商業施設の進出内定が実現しました。 ・鷯野飛行場跡地の防災備蓄倉庫にて、紫電改実物大模型の一般公開を行い、市外や県外など、たくさんの方が来場されました。 ・若者世代の流出を防ぐため、大学生等の通学定期券購入助成制度を開始しました。
誰もがみんな 元気で安心して 暮らせる加西 (くらし)	5	・専用アプリ「加西健幸アプリ」を作成し、運動ポイント事業を実施しました。アプリのダウンロード者数は実施期間内に2,800人を超えました。 ・令和2年4月開園に向けて、公立園では「泉よつばこども園」を整備し、あわせて賀茂幼児園を認定こども園としました。
	6	・新たに3歳児健康診査に視覚検査スクリーニング機器を導入したことで、必要な方の早期に治療につながり、健診内容の充実を図ることができました。
地球に優しい 環境都市加西 (環境)	7	・集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、10団体に対し補助金を交付しました。
	8	・ふるさと加西フォトコンテストのInstagram部門で、大幅に投稿数が伸びました。 ・平成30年度に作成された播磨国風土記をデザインしたマイバック（エコバック）を利用し、出生家族ならびに3歳未満の子供がいる家庭に転入時に無料配布しました。
パートナーシップ による地域経営 (地域経営)	9	・女性が主体となって改革・改善する活動につながる「女子カフェ」を定期的で開催し、女性活動推進に取り組みました。 ・加西市、加東市、西脇市、多可町で構成される定住自立圏において、共生ビジョンが計画最終年度であるため、次期計画の策定を進めました。
	10	・第6次総合計画及び地域創生戦略の策定に向けて、市民・中高生アンケートやワークショップ、団体ヒアリング等の意見募集を行いました。 ・令和元年9月にリコージャパン株式会社との地方創生に係る包括的地域連携に関する協定を締結しました。

加西市地域創生戦略の成果指標の状況（令和元年度）

地域創生戦略の分野としては①人口増対策(自然増と社会増)、②しなやかで元気な地域づくりを掲げており、それぞれ3つの目標、計6つの基本目標を設定している。この基本目標に対して5年後の令和元年度に実現すべき成果に係る総合的な数値目標を設定しており、令和元年度末の数値指標の状況は、以下の表の令和元年度数値欄のとおりである。

なお、基本目標のアクションプランとなる各分野の施策についても評価指標を設定しており、総合計画施策評価一覧の戦略アクションプラン欄に整理番号を示すとともに、評価シート（個票）にも表示している。

① 人口増対策

基本目標	成果指標（令和元年）		数値・基準年	30 年度	令和元年度
	項目	数値目標			
【基本目標 1】 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる	未婚率 (女性 25～34 歳)	46.6%	49.4% (国勢調査) (平成 22 年)	50.2% (平成 27 年)	50.2% (平成 27 年)
	出生率	1.6	1.26 (平成 26 年度)	1.28	1.28
	幼保児童数	1,300 人	1,265 人 (平成 26 年度)	1,332 人	1,354 人
【基本目標 2】 若者や女性の要望にマッチした雇用を確保する	若者の残存定住率	80%	73% (平成 26 年度)	78%	78%
	市内事業所従業員 市内居住率	50%	42% (市新規採用等雇用現況調査) (平成 26 年度)	38%	37%
【基本目標 3】 地域資源を活用した交流・滞在から定着を拡大する	観光入込客数	年間 100 万人	85.3 万人 (平成 26 年度)	92.1 万人	265.2 万人 (105.4 万人)
	移住斡旋数	年間 200 件	10 件 (平成 26 年度)	83 件	105 件

② しなやかで元気な地域づくり

基本目標	成果指標（令和元年）		数値・基準年	30 年度	令和元年度
	項目	数値目標			
【基本目標 4】 社会や産業の変革に対応した活力ある住みやすいまちをつくる	製造品出荷額	5 年間で 10%増	2,379 億円 (工業統計) (平成 25 年度)	2,586 億円 (工業統計) (平成 29 年)	2,948 億円 (工業統計) (平成 30 年)
	小売業年間販売額	5 年間で 10%増	382 億円 (商業統計) (平成 24 年度)	444 億円 (平成 28 年)	444 億円 (平成 28 年)
	総就業人口	23,000 人	22,721 人 (国勢調査) (平成 22 年度)	21,113 人 (平成 27 年)	21,113 人 (平成 27 年)
	コミュニティバス系統数	10 系統	8 系統 (平成 26 年度)	9 系統	9 系統
【基本目標 5】 災害に強く、健康で元気に暮らせる社会をつくる	防災訓練・研修回数	年間 71 回	平均：57 回 (平成 25・26 年度平均)	75 回	57 回
	要介護認定者割合	現行水準を維持	19.3% (平成 26 年度)	19.8%	19.7%
【基本目標 6】 歴史と文化にあふれる加西のブランドイメージを高める	市ホームページ閲覧数	年間 195 万件	153 万件 (平成 26 年度)	196 万件	230 万件
	メディアの登場回数	年間 530 件	400 件(新聞) (平成 26 年度)	464 件	321 件

「空がつながまち・ひとづくり交流事業」
2019年度 地方創生推進交付金事業内容・経費報告書

(単位：円)

事業名称	事業経費内訳		事業内容と支出額、委託先等
ひとづくり 交流事業	1. 平和ツーリズム推進事業	3,494,256	
	(1) 戦跡ガイド養成支援事業	800,000	戦跡ガイド養成
	(2) 平和学習事業	105,600	鶴野飛行場ガイドブック印刷
	(3) 語り部養成支援事業	1,237,500	語り部の解説映像記録
	(4) 戦争遺産を活用したイベント支援	1,351,156	鶴野イベント開催支援、飛行機発動機整備台整備
	2. 地域間連携事業	6,000,000	
	(1) 「空がつながまち・ひとづくり」PR事業	1,000,000	空がつながまち・ひとづくり推進協議会負担金
	(2) 戦争遺産歴史映像共同制作	5,000,000	4市共同映像制作
	3. 関係人口創出事業	15,354,410	
	(1) マチホメ事業	11,981,060	ふるさと納税WEBサイト&写真撮影、関係人口創出プロジェクト
	(2) 熱気球普及推進事業	3,373,350	熱気球事業の普及推進
	ひとづくり交流事業合計	24,848,666	
まちづくり 交流事業	1. 地域活性化拠点整備事業	30,074,000	
	(1) 地域活性化拠点整備内装設計業務	24,123,000	地域活性化拠点施設建築設計
	(2) 地域活性化拠点運営計画策定	4,983,000	管理運営計画策定支援
	(3) 地域活性化準備委員会運営	968,000	委員会運営支援
	2. 歴史文化継承・発信事業	47,871,134	
	(1) モバイルガイドシステム構築	4,987,400	モバイルガイドシステム構築
	(2) 映像コンテンツ等整備事業	34,251,574	地域活性化拠点施設展示設計、アドバイザー派遣、巨大防空壕跡映像制作
	(3) 歴史資料収集、アーカイブ化等	8,632,160	戦争体験者の映像記録、落下傘レトリック作成、歴史資料調査、戦争遺跡調査
	3. まちの賑わい創出事業	1,000,000	
	(1) 観光まちづくり協会組織強化事業	1,000,000	観光まちづくり協会組織強化
	まちづくり交流事業合計	78,945,134	
しごとづくり 支援事業	1. しごとづくり支援事業	19,755,468	
	(1) モデルツアー構築	5,000,000	モデルツアー構築事業、観光アドバイザー事業
	(2) 3WAYツーリズム推進団体支援事業	9,755,468	3WAYツーリズム推進団体支援、イベント助成、グリーンツーリズム推進団体補助
	(3) 地元ブランド品開発	5,000,000	地元ブランド品開発
	しごとづくり支援事業合計	19,755,468	
	総合計	123,549,268	

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

加西市		事業開始前	2017年度 増加分	2017年度 実績分	2018年度 増加分	2018年度 実績分	2019年度 増加分	2019年度 実績分	2020年度 増加分	2021年度 増加分
KPI①	ミュージアム及び関連施設来場者数（人）	8,000	0	1,000	2,000	830	2,000	21,170	4,000	34,000
KPI②	平和ツーリズム体験者数（人）	200	350	350	50	50	100	0	150	200
KPI③	創業者数（人）	2	1	9	2	2	2	4	1	1
KPI④	サービス業市内総生産額（百万円）	25,278	522	645	600	-221	600	1,909	700	800